記者発表資料

平成２８年　２月２６日
能代河川国道事務所

日沿道ネットワークの案内に関する改善検討に着手
～秋田県北部地域の広域観光や産業振興の推進のために～

日沿道ネットワークの一部（二ツ井白神ＩＣ～あきた北空港ＩＣ）が現道活用区間※となっていることが、道路利用者などにわかりやすいよう地図・観光パンフレットや道路案内標識を改善していくことに、関係する機関・団体（沿線の地方公共団体、観光協会等）が連携して取り組みます。

※現道活用区間：既存の二ツ井バイパス等の局所的な改良により、安全性、提示性、速達性の向上を図ることで、高規格幹線道路ネットワークの一部として活用する区間です。

○第27回日本海夕陽ラインシンポジウムin大館（27.11.30開催）において、沿線ＪＣメンバー等が日沿道全線のつながりを活かした地域創造について議論する中で、「現道活用区間が日沿道ネットワークの一部区間になっていること（高速道路の替わりになる道路があること）が誰にでも伝わるような地図・観光パンフレットや道路案内標識」にしていくことが提案されました。

○また、秋田県北部地域では、今後の日沿道の開通を産業面や広域観光面の発展に最大限活かしていくことに連携して取り組んでいます※。

※日沿道の整備進捗を踏まえ、今後の開通を見据えた地域戦略の構築と地域連携の取り組みについて、沿線の市や商工会議所等で昨年５月より議論を始めています。

○このようなことから、関係機関・団体で検討会を立ち上げて、下記のとおり改善検討に着手することといたしました。

記

１．日　　時：平成２８年　２月２９日(月)　１３時３０分～
２．場　　所：能代河川国道事務所　２Ｆ　大会議室
３．検討会の構成：別紙１のとおり
４．検 討 課 題 ：別紙２のとおり

記者発表先：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

TEL　０１８５－７０－１００１(代)

副所長（道路担当）　小山　茂　（内線２０５）

別紙　1

検討会の構成

秋田大学理工学部　教授

秋田県北秋田地域振興局　総務企画部長

秋田県北秋田地域振興局　建設部長

秋田県山本地域振興局　　総務企画部長

秋田県山本地域振興局　　建設部長

能代市　環境産業部部長

北秋田市　産業部部長

藤里町　生活環境課長

能代観光協会　会長

二ツ井町観光協会　会長

藤里町商工会　会長

北秋田市観光物産協会　会長

能代河川国道事務所　副所長

別紙２

検討課題

〇現道活用区間が日沿道ネットワークの一部になっていること（高速道路の代替の道路であること）が誰にでも伝わるような地図・観光パンフレットや道路案内標識

【改善検討の例】

・地図・観光パンフレットでの現道活用区間の表記方法

・高速道路区間と整合の取れた道路案内標識（出入口（立体交差点）や休憩施設を案内する地点や表示方法）

〇（また、同時に、）地図・観光パンフレットと現地の道路案内標識とが連携した県北観光地等のわかりやすい案内

【改善検討の例】

・白神山地にアクセスする県道と国道７号との立体交差箇所における地図・観光パンフレットと現地の道路案内標識の案内表記の整合

■観光パンフレットでの現道活用区間の表記



■道路案内標識

	秋田道では	現道活用区間では
出入口の案内	 ・だいぶ手前からICを案内している。 ・現道活用区間の出入箇所（立体交差箇所）の案内はない。	 ・立体交差箇所の案内は直近と300m手前のみ。 ・地名表記なので、白神山地出入口であることがわからない。
SA・PAの案内	 ・だいぶ手前からPAを案内している。 ・現道活用区間にある「道の駅ふたつい」の案内はない。	（SA・PAはないが、小繋ICに隣接して「道の駅ふたつい」が移転整備される。）